

かんと 漢人あきこの 市議会レポート NO.114



市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel/Fax 042-316-1619
小金井市議会 みどり・市民ネット 本町6-6-3 Tel.042-383-1111

報告 第2回定例会 6/1~24

一般会計補正予算 可決

全員賛成で可決しましたが...

□待機児解消のため保育所増設など

→質の確保、既存園との調整も大事!

□環境配慮型住宅モデルハウスを貫井南町に建設する設計委託料

→事前説明もなく、資料も直前の配布...

□貫井北町地域センター建設検討市民委員会に女性委員を追加

→新しい委員会なのに全員男性でスタートするところでした。漢人の初日の本会議での指摘で緊急対応が実現。

副市長2人化条例 継続

総務企画委員会で慎重意見が続出。結論は早くても9月議会になります。

……どうなってるの?

新庁舎の建設計画

市民検討委員会が1万人アンケート、秋の市民フォーラム、パブリックコメントを経て1月答申に向けて進行中です。

77億円の市民交流センター

指定管理者の選定と、合築の再開発ビルの特権者間で諸々の調整中。9月議会取得議案が提案される予定です。

育児をする男性

イクメン

漢人の一般質問
市役所が「不平等では男女平等はずすまない

を増やそう!

市役所の男性の育休取得率、昨年度は0%

2009年度の男性の育児休業取得率は過去最高で1.72%と厚生労働省が発表しました。小金井市役所では昨年度はゼロ、今年度は2人のみです。*市では対象者数を把握していないので何%かは不明

策定中の市職員「次世代育成支援プラン」後期計画について質問し、前期の3年間、進行管理と検証のための庁内検討委員会の開催がゼロ、事業の半分は手つかずだったことが明らかになりました。

1人しかいない検討委員会の女性比率を改善し、研修や出産支援休暇導入などに早急に取り組むとのこと。広島県三次市では率先実行すべき市役所として全職員に育休を義務づけています。子育てに関わる働き方への改革は、めざすべき社会ビジョンのポイントです。

また、女性管理職は1998年の14.6%から横ばい状態ですが、こちらは具体的な改善策は示されませんでした...

議会の日程 *開会は10:00

7/16(金)	行財政改革調査特別委員会
22(木)	総務企画委員会
27(木)	13:00~庁舎建設等調査特別委員会
8/17(火)	駅周辺整備調査特別委員会
20(金)	厚生文教委員会
24(火)	建設環境委員会
25(水)	14:00~議会運営委員会
26(木)	ごみ処理施設建設等調査特別委員会
30(月)	第3回定例会開会

公開 議員研修会
都内初!多摩市の
議会基本条例
8/2(月)14:00~
市役所第1会議室

気になる議案の採決結果

賛成 × 反対 退席 数字は人数
民主・社民は宮崎議長が採決に加わらないため

議案	みどり・市民ネット						共産	民・社	公明	自民	自民ク	改革	こ市民
	漢人	片山	田頭	青木	野見山	渡辺							
選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×				×
普天間基地問題の日米合意に基づく政府方針の決定に抗議し撤回を求める意見書								1 2	×	×	×	×	

共産党/森戸 関根 水上 板倉 民主党・社民クラブ/村山 武井 宮崎 鈴木 公明党/宮下 紀 小林 渡辺
自民党/中根 露口 自民クラブ/遠藤 中山 改革連合/篠原 こがねい市民会議/斉藤 (敬称略)

→「選択的夫婦別姓～意見書」には意見書の間違いも指摘して反対討論をしました。全文をHPにアップしています。



1960年生れ/緑町在住
 建設環境委員/議会運営委員
 駅周辺整備調査特別委員
 庁舎建設等調査特別委員
 市民自治こがねい共同代表/みどり
 三多摩共同代表/みどりの未来運営委員長

漢人の一般質問
 ドメスティックバイオレンス(DV)対策をすすめるために

女性の命を守る DV計画に!

策定中の配偶者暴力対策基本計画に対して、デートDVなど若い人たちへの啓発、避難できない被害者への支援、生活保護の確実な措置、子どもの安全確保とケア、外国人・障害者・高齢者などさまざまな配慮を必要とする被害者への対応などの追加・充実を求めました。計画に注目!

どう思いますか?

議員と公務員の定数削減 vs 報酬ダウン

参院選では国会議員と公務員の削減が、必須のような議論がされていました。財政再建のため、国民負担の前に、まず身を削るというもの。でも定数を削減したら、さらに一部の「特権階級」を生み出すことになります。報酬額は下げても定数は維持するべきです。

ますます組織とお金のある議員だけにするよりも、地域や国民の平均的な給与水準に下げ、志のある多様な意見を代表できる議員を増やしたい。『少数の高給公務員と官製ワーキングプア』ではなく、適正な待遇で公務や社会サービスを担う人を増やしましょう。国も自治体も、企業も同じ。『G社長には8億円の報酬、派遣労働者は無情に首切り』なんて社会はおかしいです。

どう思いますか?

存続? vs 廃止?

自治体議員の議員年金

議員年金は「平成の大合併」で自治体議員が激減した結果、来年度には破綻の見通しですが、議長会では公費(税金)負担を増やして維持しようとしています。

国民年金の25年に対して12年で受給資格が発生、12年未満でも5~6割が戻る仕組み、国民年金や厚生年金との重複受給、4割の公費負担(国民年金は3割)など特権的な議員年金は廃止して、そもそも誰もが安心できる公的年金の拡充こそ急ぐべきだと思います。

ちなみに毎年100万円の掛金(収支報告参照)が強制徴収されているんです。

2009年度 漢人の収支報告

<収入>	
議員報酬(小金井市)	8,261,399
<支出>	
税・国民年金・国民健康保険	1,481,400
共済(議員年金)	1,119,300
市民自治こがねい特別会費	1,320,000
生活費・活動費など	4,340,699
計	8,261,399
審議会委員報酬	50,000
(土地開発公社評議員、民生委員推薦会)	
政務調査費	360,000

* 前年までの収支はホームページ参照

二重取り的な報酬はなくしたい!

議員が市長のつくる審議会などの委員になるのも、その委員報酬をもらうのもやめるべきです。また、複数の自治体が業務効率化のために作った一部事務組合で、そこに各市の議員や市長に二重に報酬を支払うのも納得できません(小金井市は昭和病院組合など6つの一部事務組合を作っています)。

報酬廃止などの見直しをしている議会もあるのに、小金井では反対の議員が多くて改善できません。私は見直しを求めて報酬の受取を拒否。市と組合が法務局に供託しています。

議員の調査研究活動への市の補助金 1人月3万円を会派に支給。領収書原本と報告書を議会事務局で公開しています。

漢人あきこと片山がおるは、市民グループ「市民自治こがねい」と一緒に活動しています。市民による政策提言や問題提起をすすめる誰でも参加自由の集まりです。季刊「散歩だより」最新号は「新しい市庁舎を考える」特集です。

議会では「みどり・市民ネット」という会派をつくりました。「市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化」「それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重」などを基本姿勢としています。